



冬支度の季節となりました。火災が多くなる季節となることから、くれぐれも火の用心を心掛けてください。また、新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた防災への備えも重要です。市民の皆様におかれましては、体調管理や感染予防とともに、防火・防災への備えにもご留意ください。

さて、コロナの影響により、今年の保育施設等の入所申請は例年よりも1か月前倒しで開始させていただきました。本年4月の待機児童数は、昨年4月の11人から14人減の97人です。待機児童解消は、喫緊の最重要課題と位置づけ、鋭意取り組んでまいりましたが、未だに達成できておりませんことを心よりお詫び申し上げます。

市長就任以来、認可保育所16施設、小規模保育所4施設、家庭的保育2施設、市内初の認定こども園1園を開設しました。課題となっていた病児保育については、昨年11月に市内初の病児保育室を開設し、今年10月には2施設目を開設いたしました。また、民間保育所の皆様方にもご協力をいただき、定員拡充や小規模保育所から認可保育所への移行などにも取り組んでまいりました。その結果、平成27年4月に2千7人であった保育定員数は、今年4月には3千251人にまで増えました。

一方で、小金井市の人口は

微増が続き、10月1日現在で12万3427人。東京都の今年8月1日の統計では、本市の人口伸び率は多摩地域で1位、都内全域で3位となっています。そのような中、保育ニーズの多様化や幼児教育・保育の無償化といった社会情勢の変化や制度変更なども踏まえ、改定した「のびゆくこどもプラン 小金井」に沿って、今年度も新規定員を増やしました。来年4月には6園の認可保育所を新設し、新規定員増は40人、定員総数は3千665人を見込んでいます。待機児童解消に際し、ご理解とご尽力をいただいております。すべての関係者の皆様にご心より感謝を申し上げます。

保育園関連予算を含む小金井市の児童福祉費は、平成27年度決算で約75億4千万円、令和2年度予算では約114億1千万円となり、実に1.5倍の増加率です。この間、保育定員増のみならず、保育園で働く方々の処遇改善のための経費、また幼稚園や認可外保育施設の利用者負担の軽減にも努めてきました。引き続き、子育て世代の皆様のご多様なニーズに応えられるよう努力するとともに、子育て・子育て・教育環境の向上に全力で取り組んでまいります。市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

小金井市長

西田真一郎